



刊夕日四十月六

寄書
現内閣に期待
 如何なる政策でも單なる聲明や宣言だけでは聊かの價値もない要は實行するか否かにある而して政策を實行實現するに否とはその誠意は申すまでもない事であるが他は實に力其ものである信するところの政策を行はんとするもその力が薄弱であるならば到底目的を達する事は出来ない目的が達せられないならばその抱持する政策が如何に立派なものであろうともそこに何等の價値をも發見しない此意味から推論して私は現内閣に

期待を持つものである何故とて先づ第一に議會の多數を背景に持つと大なる強味と三黨首クツツを並べたるのみならず世既に定評ある適材を適所に配し得た事から見てこの内閣が如何に有力であるか如何に實行力を有する内閣であるかといふ事が窺ひ知られるからである而して今後如何なる点まで妥協点を見出すかは豫想し得ないけれども兎に角憲政會の主張も政友會も歩だつたのであるから如何なる成案を得るにしても我々には大した相違はない譯であるつまり農村救済の事

高月會
 蜂の群火攻にしたる洞か那紙礫隨伴門の蜂怒る 雪村勅額と並び見る降菓寶鐙の如し 藤棚にひねもす降の集ひか 密に酔ふか日暮れて去りぬ 蜂一つ 揚臺

内科顧問
 醫學博士 鈴木清藏先生
 明十五日出張診療
 平町 磐城病院
 電話二一四番

もしやとも思ひし事の目の前にまこもとなりて見たる驚き
 暗き影わがまなかひを離れ得ずやるせなき日の幾日つづきて
 笛が鳴るほろ／＼と鳴る笛の者にねしままいつか涙してゐる
 雲赤し水に映れる雲赤し別れし人を思ふ夕暮
 あな戀し返らぬ夢に泣きぬれてひとり月夜の野に草を籍く
 劇樂を身にひそませて語らざる子の明暮を見守れる母



評判第一
 久保田パン

流水錦
 琵琶教授
 平手錦鞭
 平町三丁目
 渡邊政五郎
 (郵便局向)

渡邊藥局
 平町三丁目
 渡邊政五郎
 (郵便局向)

開設
 御料理部
大村や
 那役所横丁
 旅館 **大村屋**
 平町二丁目
 (電話七五番)

一冊の代金で
 御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
 平町長橋町三五
川崎回文庫
 (申込次第規則書進呈)

サシテ一日一冊
人情熱火
 遠山杉姉妹
 松枝のる子
 帝キネ直營
帝國館

入院隨意
 小兒科 皮膚科 花柳病科
青沼醫院
 醫學士青沼淡夫
 電話四〇三番
 平町舊城跡(城山三の丸)

清酒 **鶴仙**
 石城郡平窪村
 元造 釀
松吉屋本店
 電話二四一番

東新株 先限
 前場後場共入電致居候
 平町田町 電話三三二番
丸登株式店
 川添房二郎

左記の値段は日本の標準値に付御用の節は御問合願候

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	七三〇
磐越銀行	一〇〇	一〇五
磐城實業	三〇〇	二九五
田村實業	一七五	一七〇
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二四五
同 新	一五〇	一八八
百七銀行	五〇〇	五五〇
同 新	一五〇	一六〇
七七銀行	一五〇	一六〇
郡山電氣	五〇〇	三八五
同 新	二五〇	一八〇
只見川電	一五〇	一七五
植田水電	一五〇	一五五
好問水電	一五〇	一四〇
磐城製菓	二〇〇	一五五
磐城製菓	二〇〇	一五五
平信託	五〇〇	三〇〇
磐城勸業	一五〇	一三五
植田物産	三〇〇	二八〇
平製氷	二五〇	二二〇
好問軌道	五〇〇	三五〇
入山新	三三五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一一〇
磐城炭礦	五〇〇	四三〇
同 新	二五〇	一九〇
磐城セメント	五〇〇	六八〇
同 新	二五〇	三七〇
平運送	二五〇	三八〇

●**賣買中値**●

此清麗なる水を

奪んこした縣當局は

三萬町民の仇敵なりて

水源視察團怒る

然格安の爲め養蚕家の氣力甚だ上らず昨十三日まで平町各問屋の取扱高約六千貫は白蘭の上物七圓普通六圓七十錢黃蘭は各五十錢落の相場で活氣のない取引を續けて居る蘭價の前途は製絲家の金融難と横濱絲況の不振が回復されれば當分見込なく目下關東一帯の出盛りを一巡したなら製絲家の懐工合も多少樂にならうが夫れ迄は悲觀説が高い

製炭計畫

四十年繼續で

小林區署では管内石城郡上小川村字渡戸の園有林五千町歩に於ける檜栗櫻等の古木を伐採し來年六月頃より炭小屋を設けて大規模の製炭をなす計畫であるが實行の曉には一ヶ年四十萬貫を生産し主に東京方面へ輸送すべく而て繼續期間四十年以上に達する大事業である

春蘭悲觀

依然不振狀態

石城地方の春蘭は昨今愈々出盛りに臨んで各問屋に現品の殺到を見せて來たが依

常磐片々

本日二百の平町民水源地を實地踏査す

愛町の至誠天に通せしものか久し振りの好天氣

一行の意氣大いに揚げて縣當局批難の聲附近山林にコグマス

附近山林のみではない遠く縣廳の所在地福島の地盤を迄もゆるがす

但し地震であつた由

を推す事に決し直に同氏の承諾を求めしところ快諾を得たるを以て茲に磐城銀行後任頭取は何の苦もなく出來た

約一ヶ月の間に

五千俵の鰯粕を製造

値段も割合に高くて

稀な豊漁にホクホク

石城郡小名濱地方は先月上旬から今月上旬にかけて數年來稀な鰯の豊漁で毎日五十餘艘の漁船が約千圓位の漁をつぎつけてその大部分が鰯粕として製造され値段も安くないので魚肥製造者はホクホクの態であるが本縣魚肥同業組合の依頼に應じて検査の指導をして長須賀縣検査官は語る

教員住宅補助

郡内四ヶ村へ

石城郡内に於いて本縣から教員住宅補助とし泉村に三千八百圓内郷村へ一萬六千八百圓澤渡村に六千圓好間村へ三萬八千圓交付する事に決定した

磐城銀行頭取

昨日快諾を得

白井博之氏の本縣農工銀行頭取就任に就ては後任磐城銀行頭取問題は此際直に適材を物色すべきが當分空位々たるものあつたが十三日午後一時より磐城銀行内に開ける重役會に於て取締役互選の結果は満場一致を以て本郡内第一の富豪にて多額納税者たる諸橋久太郎氏

カテイラン

ダリヤの挿木方

梅雨には、雨のために病害虫が盛んに繁殖し、雑草がはびこり、又草木は徒らに長くなります。併し挿木や接木には最もよい時期であります。ダリヤの挿木は、普通六月から八月までに行つてよろ

田町火防組合にては十五日消火器の検査を爲し梅雨期の消火器手入れに關して注意する處があつた

田町火防督勵

平町田町火防組合にては十五日消火器の検査を爲し梅雨期の消火器手入れに關して注意する處があつた

軍簡閱點呼

人員百二名

石城郡にては既記の如く本日前九時から郡議事堂に於て米田海軍大佐に依て海軍簡閱點呼を執行したが人員百二名成績良好であつた

水揚は卅割 鰯四百尾を釣獲す

水揚は卅割

石城郡小名濱町野崎才助氏所有漁船第二號は昨日午後二時頃同濱約七十哩の海區に於て鰯四百尾を釣獲夕方歸港したが水揚卅割である

米國歸朝歡迎

磐城 中學校第十五回卒業生永山

しい挿木をするにはまづ若芽の充實したものを二三寸の長さに節の下部から鋭い刃物で切り落して挿します。これには先の餘り軟かな部分はまだ根を下す方があります。それから先の方計りを切つて挿しますと失敗します。又根本からその中の一番丈夫な良い苗だけを一本残して他のものは捨て、

不平受付

旅館の兼業問題 旅館で料理屋を兼業する家に對し伊藤署長の談と稱する新聞記事を見るに不完全にして風規を亂すものは嚴重に取締ること事ですが然らば署長は何故不完全なる旅館に對し料理店の兼業を許可したのでせうか此点を質問します(赤心)

伊藤署長の答 貴方は私の意見を誤解して居るやうに感じられますから是非一度私を訪ねて來て下さい。此欄では貴方の満足する程度のお答へが出来ません故にお目にかかつて充分詳細にお話を申上度いのです

『大盜傳と情熱の火』 帝國館にては悪々一飛躍を試み、義士外傳忠僕直助(喜劇)身替り婿泰西悲劇「羽はかされし愛兒」の外に帝國館のファンをして稀なる名作の故を以て熱狂せしめた。連續現代劇「大盜傳」の青春篇及び遠山櫻の姉妹篇(傳へらるる「情熱の火」)を上映好評を博してゐる



病人な

とは尚ほさらの事で、かゆは必ず充分に冷してたべなくてはなりません、その理由は飯でもかゆでも、その冷えるに従つて空中から有効バイキンが飛び來つて飯は

消化は

つかう素を附與するからです、その状態も麴を作る際に自然と空中から麴菌が蒸米の面に落ち來ると同じです、すべていづれの料理でもあまり熱いものはよくないのです、この点になると西洋料理などは

本式で

は熱からず冷たからずで、ちようど程よき温度に保つてあります、

幕なしに降る

いかな天候 未だ續くらしい

幕なしに降る

今年の梅雨には晴れ間がないそれに冷氣續き毎日暮なしに降るので農村では稲作の影響を恐れて照り出す日の到來を待ちあぐんでゐるが小名濱測候所の觀測に依ると「梅雨は二日から始まつた」暦面の入梅より約十日ばかり早い二日以来の氣象では雨量が多いが其の割合に温度が低く九十五六分

平町人事

出生 鐵田町 鐵田藤七氏三女文字
死亡 鐵田町 當時神奈川縣橋本郡橋本士ヶ谷町入江キキ(三)